

8 学業成績

1 成績の評価

成績は、S、A、B、C、D(C以上が合格、Dは不合格)をもって評価されます。(一部P合格、F不合格で評価される科目あり)

| 合 否 | 評 価 | 素 点 | 評価の基準 | 成績証明書の表示 | |
|-------|---------|----------|------------------------------|----------|------|
| 合 格 | S (秀) | 100 ~ 90 | 学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している | S | |
| | A (優) | 89 ~ 80 | 学修到達目標を十分に達成しており、期待どおりである | A | |
| | B (良) | 79 ~ 70 | 学修到達目標を十分に達成している | B | |
| | C (可) | 69 ~ 60 | 学修到達目標を達成している | C | |
| | P (合格) | — | 学修到達目標を達成している | P | |
| | N (認定) | — | — | N | |
| 不 合 格 | D(不可) | 59 ~ 0 | 学修到達目標を達成できていない | 表示されない | |
| | | R | 0 | | 出席不足 |
| | | J | 0 | | 受験せず |
| | F (不合格) | — | 学修到達目標を達成できていない | | |
| 保 留 | W | — | 成績保留 | | |

成績評価について質疑がある場合は、受付期間内(成績交付後7日間以内)に教務課で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。後に掲示・メール配信等で呼出し、回答を伝えます。受付期間を過ぎた場合は、一切受け付けません。

2 成績発表の方法

前期成績表および後期成績表は、「メソフィア」に掲載しますので、必ず確認をしてください。ただし、試験期間など確認できない期間があります。詳細はオリエンテーションや掲示板で連絡します。

成績表を閲覧し、D判定の科目について再試験を希望する場合は、所定の手続き(6.試験(4)参照)をしてください。なお、再試験終了後、前期成績表は9月、後期成績表は3月に保護者宛に送付します。

3 GPA制度 (成績総合評価)

学業成績は年次毎に総合評価のポイントで表します。

この数値をGrade Point Average = GPAといいます。

各科目の成績は次のようにポイント化します。

各科目のポイントにその単位数を乗じた値の合計を、履修登録した単位数の合計で除し、総合評価ポイントとします。

$$\text{GPA} = (\text{各科目のポイント} \times \text{各科目の単位数}) / \text{履修登録の総単位数}$$

※不合格科目(D)を再履修し合格した場合は、それ以前の評価に代わり、最新の評価をGPAに算入します。ただし、過去に交付した成績表のGPAについては、遡って修正することはありません。

※成績評価記号P及びF、NはGPAの対象外です。

※教職課程の科目及び卒業要件外の科目はGPAの対象外となります。

| 成績評価記号 | ポイント数 | |
|--------|-------|---|
| S(秀) | 4 | |
| A(優) | 3 | |
| B(良) | 2 | |
| C(可) | 1 | |
| D(不可) | R | 0 |
| | J | |

4 GPAの取り扱い

特待生の継続審査の際には、このGPAを利用します。基準値などの詳細は、「10.特待生制度」を確認して下さい。また、それ以外にも学業成績優秀賞や卒業時の賞の判定などには、素点の平均点などの成績総合表を利用することがあります。

毎学期、成績評価が決定した時点で当該学期のGPAが1.0未満または本学の定める修得単位数未満の場合は、担当教員による面談を行います。また、連続でGPAが1.0未満となった場合は、退学を含む指導が行われます。

5 上野賞・赤羽賞

成績優秀にして他の模範となる学生に対して、卒業時に上野賞および赤羽賞が授与されます。

6 学業成績上位者表彰

1年次終了時に、成績上位者10名を表彰します。本賞は、成績の素点平均値(ゼミナール科目・他学部履修科目を除く)により選考します。表彰者に対しては、翌年度の授業料を一部減免します。ただし、他の授業料減免制度の有資格者は、表彰のみとし、減免の対象にはなりません。また、次に該当する場合は、表彰の対象とはなりません。

- ゼミナール科目、他学部履修科目を除く履修単位数が、1年次終了時点で31単位未満
- 素点平均が、80点未満
- 留年生